

教科	科目	単位数	学年	集団
国語	現代の国語	2	1	ビジネス探究科

使用教科書	副教材等
現代の国語（大修館書店）	正しく読み、解くための力をつける現代の国語（数研出版） 常用漢字ダブルクリア（尚文出版）

科目の目標
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。</p> <p>(2)生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。</p> <p>(3)言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。</p>

評価の観点とその趣旨	
①知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
②思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
③主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価方法	
①定期テスト、小テスト ②定期テスト、ワークシート、発表 ③授業への取り組み状況、提出物	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材などの内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、伝え合う内容を検討する。○話す・聞く 自分の考えが的確に伝わるよう、文体、語句などの表現の仕方を工夫する。○書く	明日をひらく『考える技術－考えさせない時代に抗して－』 伝える、伝え合う	①言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ②目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、伝え合う内容を検討することができる。○話す・聞く ①話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 ②自分の考えが的確に伝わるよう、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。○書く	○	○	○
5	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉える。○読む	要点をつかむ『水の東西』	①文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ②文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。○読む ③言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨こうとしている。	○	○	○
6	自分の考えが的確に伝わるよう、自分の考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。○話す・聞く	的確に伝える 伝わるように話す	①話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 ②自分の考えが的確に伝わるよう、自分の考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。○話す・聞く ③言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨こうとしている。	○	○	○

7	目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理する。 ○話す・聞く	他者と交流する 目的に沿った質問をする	①言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ②目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理することができる。○話す・聞く ③言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨こうとしている。	○	○	○
9	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。○読む	論理をとらえる 『動的平衡としての生物多様性』	①主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ②文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。○読む ③言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨こうとしている。	○	○	○
10	文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深める。 ○読む 自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えとともに、表現の仕方を工夫する。○書く	意見を示す 『プラスチック汚染からは逃れられない』 意見文を書く	①個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ②文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めることができる。○読む ①文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ②自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えとともに、表現の仕方を工夫することができる。○書く ③生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図ろうとしている。	○	○	○
11	自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、説明の仕方を考えとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫する。○書く	魅力的に伝える 魅力的な紹介文を書く	①常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ②自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、説明の仕方を考えとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。○書く ③我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。	○	○	○
12	目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整え、自分の文章の特長を捉え直す。○書く	他者と交流する 状況に応じた通信文を書く	①実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ②目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整え、自分の文章の特長を捉え直すことができる。○書く ③生涯にわたり国語を尊重してその能力の工場を図ろうとしている。	○	○	○
1	目的に応じて、文章や図表に含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深める。○読む 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度をなどを考えて、文章の構成や展開を工夫する。○書く	資料を駆使する 『「安くておいしい国」の限界』 統計資料をもとに意見を書く	①情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。 ②目的に応じて、文章や図表に含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めることができる。○読む ①引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うことができる。 ②読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度をなどを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。○書く ③生涯にわたり国語を尊重してその能力の工場を図ろうとしている。	○	○	○
2	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。○読む	情報を比較する 『「個人」から「分人」へ』	①文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ②文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。○読む ③生涯にわたり国語を尊重してその能力の工場を図ろうとしている。	○	○	○